



沼津市文化財 センター通信

Vol.15

2024年12月発行



文化財通信
バックナンバー



沼津市公式Youtube Ch.
(沼津の歴史紹介)



橋とトンネルによる日本ではじめての保存方法

高尾山古墳を次世代へ



高尾山古墳は、今から約 1800 年前の東日本最古級の前方後方墳です。道路建設計画に伴って発見されましたが、とても貴重な文化財であることから、沼津市では古墳を保存したまま、道路と両立させる取り組みを進めてきました。

2017 年に橋とトンネルによって古墳を傷つけずに整備する方針を発表し、2020 年には橋とトンネルを対象としたデザインコンペ（設計競技）を実施しました。これほどの大工事のデ

ザインコンペは全国初の実施であったことから、高尾山古墳は歴史的な価値だけではなく、その保存方法においても、全国の専門家からたいへん注目されています。

上の図は、デザインコンペで最優秀提案となった図で、コンセプトは『ふるさと風景をつくる“みちにわ”』です。古墳と神社、道路が一体となった景色が日常的なものになる、そのような整備を進めていく予定です。古墳整備の完成はしばらく先になりますが、完成までも古墳に関する情報をいろいろ発信していきますので、注目してみてください。

重要な古墳時代の遺物 2

鉄製の武器

前号では高尾山古墳出土の鏡を紹介しました。今回は鏡と一緒に発見された鉄製の武器を紹介します。長い 2 本は、ヤリです。本来は木でできた柄が付きませんが、長い年月の間に木の部分はなくなってしまいました。西日本では剣が見つかることも多いのですが、東日本のこの時期の古墳からはヤリが見つかることが多いです。剣ではなくヤリが選ばれる理由は不明ですが、東日本の古い時期の古墳に共通することなので、何かしらの意味があるのだと思われます。

小さいものは鉄鏃といわれる「やじり」です。形は 3 種類あり、全部で 32 本が見

つかりました。実際に使ったものではなく、儀式に使ったものと考えられますが、こちらは西日本の古墳で出土するやじりと共通した形のものもあります。東と共通するヤリ、西と共通するやじり、高尾山古墳に眠る人物は広い交流関係を持っていた可能性が高いと思われます。



やじり



ヤリ



高尾山古墳の武器



8月3日(土)開催

in 市民文化センター

夏休み文化財イベント報告!

むかしの世界へ タイムスリッパ



参加者は80名。
 市外からも参加していただきました!
 弓矢体験や土器づくり、^{まがたま}勾玉づくりをして、
 むかしの人になりきりました!
 文化財センターでは来年度も子供たちが文化財
 や地域の歴史を身近に感じることができる
 イベントを行う予定です。お楽しみに♪

いがいとむずかしい~

文化財まちあるき マップ



文化財センターでは、沼津市内の文化財を紹介する地図を作っています。これまでに、^{しょうかい}金岡・浮島・原・戸田・内浦・西浦・大平を作成しました。今年も、第一地区と第二地区を作成しています。地図をかたて片手に皆さんがお住まいの地域の文化財をめぐってみてはいかがでしょうか。

案内図



まちあるきマップはこちら

沼津市文化財センター

展示室見学 平日9時00分から16時30分
 (土・日曜日、祝日、年末年始はお休み)
 見学無料
 〒410-0106 静岡県沼津市志下530
 TEL 055-935-5010 / FAX 055-933-1270
 沼津市教育委員会文化振興課 文化財企画係・文化財調査係
 E-mail cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

